

北海道学び推進月間の取組

釧路教育局
平成30年12月7日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 釧路市立城山小学校の取組（春の学び推進月間の取組）

朝学習（城山タイム）を通して基礎的な知識及び技能の定着を図る取組

釧路市立城山小学校では、今年度4月から登校時刻を10分早め、朝学習を充実させる取組を始めました。

学力向上を目指し、朝学習の時間をしっかりと確保することで、1時間目が始まるまでの流れを整え、児童に落ち着いて学習に向かう姿勢を身に付けさせるとともに、学習内容の定着の確認や学び直しを行いました。

児童からは「1時間目の勉強からしっかりと考えることができるようになった」「分からなかった問題が解けるようになって嬉しい」などの声が寄せられています。

今後は、取組の成果と課題を整理して、本取組のさらなる充実を図っていきます。



【朝学習の様子】

○ 北海道標茶高等学校の取組（秋の学び推進月間の取組）

小・中学生を対象とした体験型学習の企画・運営を通して課題研究の成果を活用する取組

北海道標茶高等学校では、3年次の課題研究において、ゼミ形式による探究活動を行っています。「発展途上国ゼミ」では、「小・中学生が異文化に触れる機会を提供したい」という思いから、町内小・中学生を対象とした体験学習会を開催しました。

体験学習会では、発展途上国について学ぶワークショップ、支援物資を発展途上国に送る「支援体験」、他国の料理の試食体験など、楽しく体験的に学べる内容を企画しました。小・中学生からは、「高校生の説明や進め方がわかりやすかった。」などの感想が聞かれ、生徒がこれまでの学習の成果を感じられる取組となりました。

今後は、課題を整理し、来年度の実施に向けて取組の充実を図っていきます。



【ワークショップの様子】

「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 標茶町立中茶安別中学校2年 長濱 倬 夢 さん
「 組み立てよう 知識のレンガ 夢の塔 」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 標茶町立中茶安別小学校1年 長濱 斗 夢 さん
「 かたかなを ぜんぶおぼえて かいてやる 」

北海道釧路商業高等学校1年 川 上 楓 さん
「 活字から 広がる叡智 知識の環 」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。